

J A たまな青壮年部活動報告

J A たまな青壮年部は、坂上隆也部長を中心に、6支部245名で活動を行っています。

今年度から新体制となり新たな気持ちで活動に取り組んでいます。近年の主な活動をご紹介します。

盟友の主張

J A 熊本県青壮年部大会において県下の青壮年部盟友が発表する「盟友の主張」にJ A たまな青壮年部から出場した、和水支部の中嶋亮太氏がタイトル「窮地に陥って気づいたこと」と題して発表し優秀賞を獲得。切迫した自身の経験談を聞いている盟友に対して語りかけるような発表が印象的でした。

また、「組織活動実績発表大会」においても、岱明支部の倉野尾知弘氏、坂上隆也氏がペアがタイトル「AST」一人は万人のために、万人は一人のために」と題して発表し最優秀賞を獲得しました。岱明支部の課題を盟友達が結束し全体で乗り越え

発表タイムル



九州大会出場

た経験談を発表しました。その後、J A 九州沖縄地区青年大会へと出場し、この功績からJ A 熊本県女性部大会においても発表を行いました。

KONKATSU

青壮年部独身盟友を対象に、「独身女性との出会いを提供すること」を目的に、婚活を実施しています。平成23年から生産者ならではの視点とオリジナリティー溢れる内容で企画立案からカップル成立までをサポート。昨年度は、農産物を生かしたピザ作りを主とした内容で行いました。男女が協力しながらの生地作りや段ボールオープン作り、そしてピザ焼き、その後のフリータイムでは和気あいあいとした非常に盛り上がる内容となりました。

今後も独身メンバーに良い出会いを提供できるよう広く広報活動を行い、参加募集や時代にあった企画を考え、更に充実した活動にしていきたいと考えています。



婚活会議の様子

食農教育活動

《ポスターコンクール》

J A たまな青壮年部では、管内の小

学校約40校の小学6年生を対象に「わが町農産物PRポスターコンクール」を実施しています。これは、ポスターを描くことで地元の農産物の魅力を理解してもらうことを目的に実施しています。昨年度の第11回ポスターコンクールにおいても、1000点を超える作品の中から33点の入賞作品が選ばれました。



▲ポスターコンクール表彰式

《J A たまな親子わくわく体験農園への参画》

J A が主催する農業体験活動に、スタッフとして参画しています。管内の小学生の親子（約30家族130名）を対象に苗の植え付けや収穫指導を行ったり、運営のサポートとして交通誘導なども行っています。



▲青壮年部スタッフ

《玉名納涼花火大会》

青壮年部活動の発信の一環として、地元の花火大会で商工会青年部や青年会議所との協議で実現し、J A ジュシー飲料



▲JAブースを出店

の販売を行いました。地域住民との交流の中で結束力がより強まったことを実感しました。

研修会

メンバーの新たな知識の取得等を目指して、様々な研修会を実施しています。今年2月には、農政研修会を実施。地元国会議員の先生及び農林水産省の職員との意見交換会を行いました。

また、「多くの出会いから生まれる新たな可能性を原動力に、自己を高める（青壮年部綱領より）」各県の青壮年部や団体との交流を積極的に行っています。昨年度は、九州地区の青壮年部との視察受入及び交流会を実施し、農作物作りの工夫点についての意見が多く飛び交いました。



▶野田衆議院議員への要請



◀他JA視察団の受入